

かすみばし
霞橋が土木学会田中賞を受賞しました
～118年前の橋が横浜に甦り、過去と未来をつなげる架け橋へ～

1 橋の世界で最も権威のある賞を受賞

田中賞とは、土木学会の選考により、橋梁・鋼構造工学に関する優秀な業績に対して授与されている学会賞です。「研究業績部門」「論文部門」「作品部門」からなり、橋の世界では最も権威のある賞とされています。

6月13日(金)の平成26年度土木学会定時総会において、霞橋が平成25年度田中賞(作品部門)を受賞しました。

作品部門では昭和41年の創設以来、延べ227橋が受賞しており、一般的に横浜ベイブリッジのような長大橋が受賞することが多い中、今回受賞した霞橋は橋長32.96mと、田中賞史上最も小さい(短い)橋となりました。



記念に授与された賞牌
(直径18cm、重さ4.1kg)

2 118年前の1896(明治29)年に架けられた橋を再生

霞橋に使用されているプラットトラスは、1896(明治29)年にイギリスで製作され、日本鉄道土浦線(現常磐線)隅田川橋梁として誕生しました。その後常磐線の複線化に伴い、1929(昭和4)年に新鶴見操車場に移設され、更に新鶴見操車場の廃止に伴い、今回霞橋として再々利用しました。



隅田川橋梁



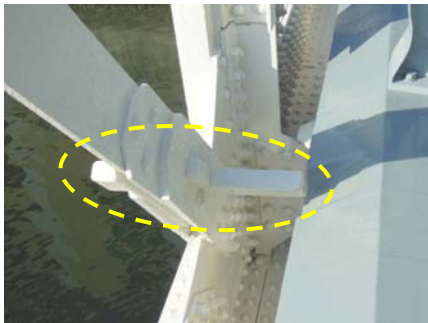
江ヶ崎跨線橋



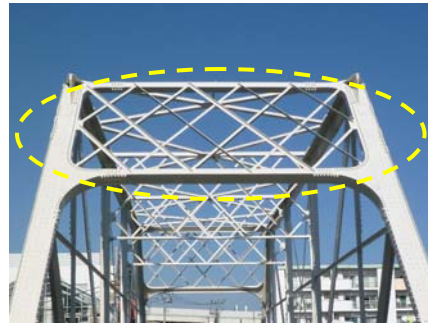
霞橋

3 特徴的な意匠を再利用

格点部のコッターピンや対傾構などの意匠を活かすとともに、建設当時の支承も再利用しています。



コッターピン（くさび）



対傾構



支承（再生前）



支承（再生後＋設置状況）

4 震橋の諸元

所在地	中区新山下1丁目
構造形式	下路式プラットトラス橋
橋長	32.96m
幅員	6.0m（歩道2.0m 車道4.0m）
橋歴	[隅田川橋梁] 1896(明治29)年～ [江ヶ崎跨線橋] 1929(昭和4)年～ [震橋] 2013(平成25)年3月21日開通
事業者及び施設管理者	横浜市道路局橋梁課・中土木事務所
設計者	(株)オリエンタルコンサルタンツ
施工者	(株)北日本機械、土志田建設(株)、中鉢建設(株)、日本鑄造(株)
横浜市歴史的建造物認定	平成25(2013)年11月8日認定

5 横浜市内での受賞例(作品部門)

受賞年度	作品名	企業者
1983年(昭和58年)	堀川筋高架橋	首都高速道路公団
1989年(平成元年)	横浜ベイブリッジ	首都高速道路公団
1994年(平成6年)	鶴見つばさ橋	首都高速道路公団
1999年(平成11年)	新港サークルウォーク	横浜市(港湾局)
2001年(平成13年)	陣ヶ下高架橋(環状2号線)	横浜市道路建設事業団

※横浜市道路局では初めての受賞となります。

お問合せ先			
道路局 橋梁課長	菊地 健次	Tel	045-671-2752
中区 中土木事務所副所長	櫻井 暁人	Tel	045-641-7681